

2025 年 7 月 30 日

各 位

新卒採用市場は厳しい競争環境続く

～小規模事業者の新卒採用離れが進む～

株式会社いよぎん地域経済研究センター（略称 I R C、社長 矢野 一成）は、このたび標記の調査結果をとりまとめましたので、その概要をお知らせします。

なお、詳細は 2025 年 8 月 1 日発行の「IRC Monthly」2025 年 8 月号に掲載しています。

記

【調査概要】

- ・ 2025 年 3 月時点の愛媛県内における就職希望者数は、大学卒が 2,867 人、高校卒が 1,674 人で内定率はいずれも 100%に近い。県内企業への内定率をみると、高校卒は 76.1%で、直近 10 年間で大きな変化はない。一方で大学卒は 42.5%で、10 年間で約 10%低下している。
- ・ 県内企業で新卒採用活動を「実施した」と回答した割合は 51.9%となった。従業員規模別では 100 人以上で 86.1%、30～99 人では 57.4%、30 人未満では 18.6%となり、従業員規模が小さいほど新卒採用離れが進んでいる。
- ・ 企業の本社所在地と新卒者の出身地域をまとめると、新規採用者数は東予、中予の企業が多く、全体に占める県内出身者の割合は約 6 割であった。地域別でみると東予が約 5 割、中予と南予が約 8 割となった。
- ・ 内定者数が採用者数を上回っている企業で内定辞退が発生したと仮定し、応募者の学歴別に発生率を計算すると、大学卒で 42.5%、専門・短大・高専卒で 15.6%、高校卒で 1.4%となった。
- ・ 新卒採用活動で企業が重視している取り組みは「イベント、説明会等を通じた学生との接触機会の増加」（64.9%）、次いで「インターンシップ、職場体験」（59.8%）が多かった。大半の企業がイベントや職場体験での接触機会を重視していることが分かる。一方で「内定後のフォロー」（31.0%）や「面接の質の向上」（9.8%）などの優先度は低くなっている。

以 上